

長崎県子連NEWS

あすをひらく子ども会

長崎県子連ニュース No.37
平成29年(2017年)3月

発行/一般財団法人 長崎県子ども会育成連合会
〒850-0057 長崎市大黒町3番1号 TEL・FAX095-827-4574
URL <http://www.kodomo-kai.or.jp/nagasaki/> e-mail kdm42@axel.ocn.ne.jp



体験活動を通して子どもを育てましょう

一般財団法人長崎県子ども育成連合会 会長 中島 公彦

県下の子ども会の指導者・育成者の皆さん、それぞれの地域において子どもの健全育成を目指してご尽力いただいておりますことに、深く敬意を表し心から感謝とお礼を申し上げます。

子ども会活動と指導者・育成者のかかわり方は、子どもの体験活動を見守り指導し終って総括的に指導助言していただいているケースと、子どもの体験活動の中に指導者も一緒になって活動しながら指導助言しているケースとがあると思います。私のこれまでの経験上、指導者も子どもと一緒に活動の方がその都度直接指導ができることから、子どもたちは指導者の先生と共に、体験活動の成果を喜び合いよい勉強と体験をさせていただいたと感謝しているように思います。

そういう意味では、他人の子、我が子を問わず、みんなを自分の子どもと思ってご指導いただいた方がありがたいなあとは思いますが、如何なものでしょうか。皆さんが私に、元気のもとは何ですかと尋ねられますので、私は「子ども会活動です。」と答えています。

私は三人の子どもがいますが、昭和35年、長女が南大浦小学校に入学後、皆さんからPTA会長にすめられて会長となり、12年間させていただきました。それ以来、長崎市の子どもの会の会長を経て、平成11年から長崎県の子どもの会育成連合会の会長を務めさせていただいております。このことは、現在に至るまで、PTAの役員の方、子ども会の役員の方々が物心両面に亘って支えていただいた賜物でありまして、今日があるのも、これまで私を皆さんが育てていただいたものと、ほんとうに有難く感謝の気持ちで一杯です。

支えていただく皆さん方の意志にそむくことなく大切にして、私なりの努力もしながら、一つでも二つでも体験活動を積み重ねて、子どもと共に充実感を味わい喜び合える体験活動の成果をあげることこそが、私たち指導者・育成者としての大きな役割ではないでしょうか!!

県下の指導者・育成者の皆さん、平成29年度は、子どもたち皆を自分の子どもと思って、子どもたちと共に体験活動促進の年と位置づけ、豊富な体験と経験を生かした活動で、子どもたちを見守り育てていただきますよう、心からお願い申し上げます、私のご挨拶といたします。

平成29年度 県子連主要事業計画(予定)

事業名	開催日	会場
長崎県子ども会ジュニア・リーダー研修会	8月10日(木)~12日(土)	上五島海洋青少年の家
九州地区子ども会ジュニア・リーダー大会	8月18日(金)~20日(日)	大分県 : 九重青少年の家
九州地区子ども会育成研究協議会	11月4日(土)~5日(日)	沖縄県 : 男女共同参画センター
長崎県子ども会伝承芸能大会	(未定)	五島市 :
長崎県子ども会指導者・育成者研修会	(未定)	雲仙市 :
全国子ども会育成中央会議・研究大会	2月23日(金)~25日(日)	滋賀県 : 大津プリンスホテル

長崎県子ども会指導者・育成者研修会〔平戸市会場〕

- 1 日時 平成28年11月20日(日)
13:30～17:00
- 2 会場 未来創造館 COLAS平戸
- 3 内容 ①県子連表彰式
②開会行事
③実践事例発表
④研究協議
⑤指導助言
⑥全体研修(講演)
⑦講評・閉会行事



開会行事



未来創造館



祝辞 県生涯学習課
課長補佐 富田和宏 様



祝辞 平戸市教育委員会
教育長 小川茂敏 様

平成28年度の長崎県子ども会指導者・育成者研修会は、平戸市と長崎市の2地区で開催されました。平戸市では、11月20日(日)に未来創造館で実施され、平戸市子連と平戸市教育委員会生涯学習課のスタッフが見事な連携のもと研修会を成功させました。鮎川子供会の曾川和則様の実践事例発表をもとに、約60名の子ども会関係者が、終始熱心に協議を行い、所期の目的を達成することができました。

研究協議会

研修テーマ

「子どもの手による子ども会」の定着と発展を図ろう
～ジュニア・リーダーの手による子ども会運営を目指そう～

☆ 事例発表
鮎川子供会

「子ども会活動について」
曾川和則 様

☆ 指導助言
専門委員 石橋一夫 先生



我が子以外も我が子のように、地域をあげて見守ることにより、子どもの安全が守られ、安心が広がって、子どもの笑顔がたくさん見られるようになりました。「子どもは星」の合言葉で、子ども会に限らず、地域をあげて頑張っています。



平戸市は、以前勤務地だったこともあり、親しみを感じています。その当時から、住んでいる人みんなが協力し合って活動するができており、地区が子どもを支えているのが実感でき、発表にもそのことがよく表れていて素晴らしいと思いました。

☆ 全体研修(講演会) 「体験活動における安全管理のポイント」
国立諫早青少年自然の家 事業推進係長 山口圭吾 様

体験活動中には、事故やけがにはならずとも、「ヒヤリ」「ハット」したということがよくあります。1件の重大事故には、29件の軽微な事故、300件の無傷な事故があるといわれておりこれが、ヒヤリハットを見逃すと重大事故の危険性があるという「ヒヤリハットの法則」です。

安全な体験活動とするためには、リスクが想定されても、事故につながらないようにリスクをコントロールすることが大切で、未然防止策の計画、KYT、事故発生時の方策、発生後の対応策など、催者として、為すべき安全管理対策を事前に計画しておくことが大切です。



全体進行
赤木奈美 様



協議会司会
末永聖子 様



研究協議会



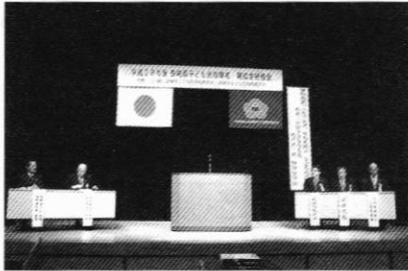
講評 市教育次長
佐々木信二 様



閉会あいさつ
田中和広 市子連会長

長崎県子ども会指導者・育成者研修会〔長崎市会場〕

- 1 日時 平成29年1月14日(土)
13:00～15:50
- 2 会場 メルカつきまち プラザホール
- 3 内容
 - ①県子連表彰式
 - ②開会行事
 - ③実践事例発表
 - ④研究協議
 - ⑤指導助言
 - ⑥全体研修(講演)
 - ⑦講評・閉会行事



開会行事



メルカつきまち

長崎市は、1月14日(土)、メルカつきまちプラザホールでの開催でした。長崎市子連としての研修会を兼ねて実施され、会場いっぱいの約150名の参加者がありました。筑後・中町子ども会を守る会の橋爪太一様と野田智弘様の事例発表をもとに終始熱心な意見交換がなされ、活気のある充実した研修会となりました。

レクレーション協会の都知木様の、室内ゲームを取り入れた楽しい講演もあり、会場が笑顔に包まれた楽しいひと時ともなったことも印象的でした。



祝辞 県生涯学習課
課長 原 洋 様



祝辞 長崎市子ども部
部長 中路崇弘 様

研究協議会

研修テーマ 「子どもの手による子ども会」の定着と発展を図ろう
～ジュニア・リーダーの手による子ども会運営を目指そう～

☆ 事例発表 「人をつなぎ、まちを結ぶ 子ども会活動」
筑後・中町子どもを守る会 橋爪太一・野田智弘 様

私たちの子ども会は、古くから「くunchi」の関係で筑後町と中町の二町で協力しながら活動しています。運営は、父親が主体ですが、地区民の絶大な協力態勢があります。年間イベントにも会にかかわれるように、活動の見える化も図っています。



また、イベントごとに担当を割り当て、多くの保護者が子ども会に関われるように工夫しています。
子ども会とは、「まちをつなぎ、人を結ぶ」大切な活動であるとの考え方を共有し、「できることからコツコツと」を合言葉にこれからも励んでいきたいです。

☆ 指導助言
専門委員 水谷幸子 先生



若い情熱とやる気にあふれた発表でした。子ども会とは何かを常に念頭において活動されているところが素晴らしいです。私たち指導者には、子どものマイナス面を指摘するのではなく、よい面を認めてほめる姿勢が求められますね。

☆ 講演会「楽しさの調味料で子どもを元気に！」
レクレーション協会 事業普及部長 都知木 睦 様

学校教育は子どもに「させる」ことが基本です。でも社会教育は「していただく」という考え方が必要です。そのためにも、活動の中に「楽しさの調味料」をつくりましょう。一部活一役で中学生にイベントを受け持ってもらうことも効果的です。まず、指導者自身が活動を楽しむことです。



全体進行
菊村弘美 様



記録
吉村正春 様



研究協議会



講評 市少年センター
所長 木下和敏 様



閉会あいさつ
久米 直 市子連会長

平成28年度第38回 長崎県子ども会伝承芸能大会 in 大村市

昭和54年に始まり本年度で38回目を数える長崎県子ども会伝承芸能大会が、平成29年2月12日(日)、大村市シーハットおおむらにおいて開催されました。市内はもとより県内各地から約400名の参観者がありました。開催にあたっては、地元大村市子ども会育成連合会ならびに大村市教育委員会の多大なご支援とご協力をいただきました。出演団体には県子連会長から賞状と記念品が贈られました。



三城子ども太鼓〔三城第一子ども会〕



三城子ども太鼓は、およそ400年前に大村純忠の居城「三城」で敵の軍勢に囲まれた城の中、子どもたちが城の太鼓を寄せ集め一斉に打ち鳴らし、援軍が駆け付け敵を敗退させたという「三城七騎ごもり」がその由来です。



県教育庁生涯学習課
宮崎 誠 課長

小路口鍬踊り〔小路口町若桜子供会〕



今から350余年前、大村第20代純頼公の時代に、西大村の豪族千葉ト枕胤重と小路口の豪族大村右馬之助純直が農民に放虎原の広野を開墾させ、美田を作りました。その時、落成祝いに人と鍬とが一体となって踊ったのが鍬踊りの始まりです。



大村市教育委員会
教育長 溝江 宏俊

大村獅子舞〔大村獅子舞保存会〕



明治初期より本町地区に発祥し、140年以上にわたり代々伝承されていて、邪悪を祓い福を呼び込むとの言い伝えがあり、これまで各神社の祭礼、大村の秋まつり、お祝い行事などへの出演を積み重ねて現在に至っています。



講評：
柳原 寅雄 課長

木場龍踊〔木場龍踊保存会〕



平成5年に木場龍踊保存会ができたばかりで、歴史は浅いですが、幼児から小・中・高校生までが大人の指導を受けながら練習に励み、お祭りをはじめとして、各種ボランティア出演などの活動を続けています。



進行：
富永 玲子 様

沖田踊〔沖田踊保存会〕



第16代藩主、大村純伊が、うばわれた領地を1480年に奪い返したことを地元領民が大変喜び、戦勝の祝いとしてつくられ踊られたのが沖田踊です。平成26年に国の重要無形民俗文化財に認定されました。



閉会挨拶：
徳永 光英 会長

黒丸踊〔黒丸踊保存会〕



約540年前の戦国時代から伝えられてきた郷土芸能で、現在は豊年感謝・平和祈願の踊りとして広く親しまれています。沖田踊同様、領地奪還の祝いの際に踊られたと伝えられており、平成26年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。



平成28年度第50回 全国子ども会中央会議・研究大会（九州ブロック大会）

本年度の全国大会は、平成29年2月17日（金）～19日（日）、福岡県久留米市で開催されました。第50回大会は九州ブロックが担当地区として主催することとなったため、九州各県が分科会を分担して実施しました。

開催までには、全子連と九州の実行委員会とが調整を図りながら準備を進め、福岡県子連並びに久留米市子連のスタッフがその中心になり運営にあたりました。

長崎県は、第6分科会「ジュニア・リーダーと指導者の役割」を担当し、長与町子連会長松下一徳様が実践発表を行いました。また、今回は九州各県の伝承芸能を発表することとなり、長崎県は長崎市立諏訪小学校の「龍踊（じゃおどり）」を発表し、会場から盛大な拍手を受けました。

全国から約1,000名が集まり熱心に研修するとともに、各種交流を深めました。長崎県からは中島公彦会長以下全子連表彰受賞者を含め28名が参加し、他県（政令市）子連と積極的な情報交換等を行い、有意義な大会となりました。



開会式



記念講演



対談



大会奏の引き継ぎ

大会日程	第6分科会
大会1日目〔2月17日（金）〕（久留米シティプラザ） 1 開会式・全子連表彰式 13:00～ 2 記念講演 14:15～ ・演題 「いま、大切にしたいこと」 ・講師 武末龍奏氏 3 九子連表彰式 15:40～ 4 対談 16:00～ ・「子どもの明るい未来」 ・新田新一郎氏 神谷明宏氏 5 政令指定都市子連表彰式 17:05～ 6 受賞者を囲む会・51周年記念情報交 18:30～ （萃香園ホテル） 大会2日目〔2月18日（土）〕（久留米シティプラザ） 1 分科会 09:00～ 2 昼食 12:00～ 3 郷土伝統芸能活動発表 13:00～ 4 閉会式 16:30～ 大会3日目〔2月19日（日）〕 1 視察研修 09:00～ 2 コース別に解散	■ テーマ 「子ども会ジュニア・リーダーと指導者の役割」 ～ジュニア・リーダーからシニア・リーダー、そして指導者へ～ ■ 実践事例発表者 長与町子連会長 松下一徳 様 ■ 部会担当者 〔長与町子連役員及び長崎県子連専門委員〕 ・司会者 石橋一夫 様 ・助言者 小谷富敏 様 ・PC担当 田中直登 様 ・会場係 水谷幸子 様 ・記録者 堀川政則 様、松本浩平 様 ■ 発表概要 長与町では、現在島原市とも連携しながら県内ジュニア・リーダーの育成に力を入れています。ジュニア・リーダーとしての活動で、縦のつながりが深まるとともに、成長に即した活動の流れ、継続性、創造性が身に付きます。それが、将来、地域のリーダーとして育つことになり、地域貢献につながるのではないかと信じています。



長崎県 諏訪小学校「龍踊」



大分県 神楽



鹿児島県 山田楽



佐賀県 巫女舞



熊本県 山鹿歌舞



沖縄県 豊年音頭



福岡県 御井町風流

平成28年度 県子連・九子連・全子連表彰 受賞者一覧表

1 長崎県子ども会育成連合会表彰

長崎県子連は、概ね5年以上にわたる継続した活動で業績が顕著であった子ども会や活動組織ならびに10年以上にわたる活動で功績が顕著な個人を表彰しています。

【団体】

NO	地区	団 体 名	代表者名	活動年数
1	川棚町	西小串子ども会	沢田 健 本多 直純	65年
2	佐世保市	吉岡第一公民館子ども会	森下 花穂 森下 淳子	51年
3		中里上子ども会	眞崎 萌 眞崎 達也	51年



吉岡第一公民館子ども会 様

【個人】

NO	地区	氏 名	団体名 および 役職名	活動年数
1	平戸市	太田 正喜	東萩田区子ども会 指導者	14年
2	長崎市	香月 栄子	橘中校区青少協 専門委員	13年
3	諫早市	田中 政博	諫早市子連 事務局長	14年
4	大村市	吉津 光浩	大村市子連 理事	16年
5	長与町	松下 一徳	長与町子連 会長	11年
6		高田 聡美	長与町子連 役員	15年



中里上子ども会 様



太田正喜 様



香月栄子 様



田中政博 様



吉津光浩 様



松下一徳 様



高田聡美 様

2 九州地区子ども会育成連合会表彰

区分	地区	氏名	団体名 および 役職名	活動年数
指導者	長崎市	松林 廣美	橘中校区青少協 事務局長	26年
	諫早市	林 和弘	諫早市子連 専門指導員	23年
		天本 徳昭	諫早市子連 専門指導員	20年



松林廣美 様

3 全国子ども会連合会表彰

区分	地区	団体名	代表者名	活動年数
子ども会	佐世保市	四条橋子ども会	福田 颯人 山口 綾乃	51年
区分	地区	氏名	団体名 および 役職名	活動年数
指導者	長崎市	堀田 敏之	長崎市子連 専門委員	41年



天本徳昭 様



四条橋子ども会 様



堀田様ご夫妻



熊本地震の災害救援募金 ご協力ありがとうございました

本年度、県内各市町子ども会で取り組んでいた募金活動の集計額は、次のとおりでした。

長崎市	29,676 円	島原市	66,900 円
大村市	14,676 円	諫早市	108,568 円
川棚町	44,616 円		
その他	雲仙市など		
合計	264,626 円でした。		

28年末時点における九州内の募金総額は約700万円で、そのうち、熊本県子連へ300万円、熊本市子連へ200万円、大分県子連へ100万円が、直接渡されました。まだ、募金活動が続いており、最終的には、28年度末に、すべての救援募金が、三つの県市に届けられる予定です。

ありがとうございました。

子ども会のホームページ

- 長崎県子連のホームページから、各種データをダウンロードすることができます。

<http://www.kodomo-kai.or.jp/nagasaki/>

[検索できる主な内容]

- ・ 県子連の目的・役員・年間計画
 - ・ 県子連の所在地・アクセス
 - ・ 県子連各種事業の参加申込書
 - ・ 子ども会表彰の推薦書
 - ・ 県子連加入申込書
 - ・ 県子連ニュース
- など

- 全国子ども会連合会のホームページ 全国の情報を知ることができます。

<http://www.kodomo-kai.or.jp/>

子ども会安全共済金のお問い合わせは、所属市町子連事務局へ !

- 子ども会への加入手続き
- 安全共済会への加入手続き
- 安全共済金の請求手続き
- 請求できる事故や疾病の範囲
- その他、子ども会に関すること

- まずは、単位子ども会の代表者から所属市町子連事務局へお問い合わせください。

- 長崎県子連事務局へも遠慮なくお問い合わせください。

Tel・Fax : 095-827-4574

Email : kdm42@axel.ocn.ne.jp

平成28年度 市町別加入会員数と加入率

平成29年2月15日現在

市町名	単子数	加入会員数						加入率(%) [加入数/児童・生徒数]			
		未就学児 (0-5歳)	小学生	中学生	高校生	指導者 育成者	合計	未就学児 (0-5歳)	小学生	中学生	小中計
県計	1,878	3,862	38,683	7,950	438	29,002	79,935	6%	54%	21%	42%
長崎市	267	512	6,396	947	49	3,144	11,048	3	31	8	23
佐世保市	283	775	7,732	912	17	5,626	15,062	6	56	13	42
島原市	139	378	2,250	371	9	3,011	6,019	16	99	29	74
諫早市	209	432	4,792	1,125	3	3,720	10,072	6	56	26	49
大村市	79	230	1,662	214	29	1,549	3,684	4	27	7	20
平戸市	104	205	1,129	401	8	1,021	2,764	15	74	49	65
松浦市	77	112	972	350	18	1,103	2,555	10	79	57	72
対馬市	30	9	1,050	462	0	337	1,858	1	64	54	60
壱岐市	27	36	1,046	193	0	142	1,417	3	68	24	53
五島市	76	124	1,640	333	55	1,082	3,234	9	94	37	75
西海市	71	138	1,199	560	25	1,015	2,937	12	94	80	89
雲仙市	122	227	1,784	430	0	2,059	4,500	12	80	19	64
南島原市	165	238	1,946	137	16	2,184	4,521	12	86	11	60
市計	1,649	3,416	33,598	6,435	229	25,993	69,671	6%	52%	19%	41%
西彼杵郡											
長与町	37	46	1,223	54	3	379	1,705	2	51	4	35
時津町	37	221	1,073	144	0	502	1,940	12	59	10	38
東彼杵郡											
東彼杵町	20	7	296	96	0	232	631	2	80	42	66
川棚町	33	61	772	409	1	886	2,129	9	97	97	97
北松浦郡											
小値賀町	15	23	67	41	6	47	184	23	84	82	83
佐々町	26	64	843	311	1	603	1,822	7	95	78	90
南松浦郡											
新上五島町	60	24	811	460	198	353	1,846	4	95	86	92
郡計	228	446	5,085	1,515	209	3,002	10,257	4%	63%	32%	52%
※事務局	1	0	0	0	0	7	7	未就学児・児童・生徒数は、 平成年28年度長崎県統計による			
合計	1,878	3,862	38,683	7,950	438	29,002	79,935				

※ 長崎県子連会員数の推移

年度	単子数	加入会員数						加入率(%) [加入数/児童・生徒数]			
		未就学児	小学生	中学生	高校生	育成者	合計	未就学児	小学生	中学生	小中計
28年度	1,878	3,862	38,683	7,950	438	29,002	79,935	6%	54%	21%	42%
27年度	1,925	3,702	40,118	8,588	433	29,909	82,750	5%	55%	22%	43%
26年度	1,968	2,687	41,375	9,219	476	30,694	84,451	—	56%	23%	44%
25年度	2,013	2,821	43,040	9,845	490	32,072	88,268	—	57%	24%	45%
24年度	2,051	2,978	44,560	10,335	563	33,165	91,601	—	59%	24%	46%
23年度	2,130	2,946	47,546	10,825	605	34,454	96,376	—	60%	25%	48%